

平成 25 年度「ふくしまの未来を担う高校生海外研修支援事業」実施報告書

県立郡山商業高等学校

実施期間・参加人数・滞在都市・現地交流校について

平成 25 年 7 月 18 日～7 月 29 日までの 12 日間、国際経済科 2 年生 14 名がオーストラリアのシドニーにホームステイしながら、ザビエルカレッジと交流しました。

実施概要について

7 月 18 日 (木)	移動日
19 日 (金)	ホストファミリー宅へ移動
20 日 (土)	ホストファミリーと過ごす
21 日 (日)	ホストファミリーと過ごす
22 日 (月)	ホスト校にて研修
23 日 (火)	ホスト校にて研修
24 日 (水)	ホスト校にて研修
25 日 (木)	ホスト校にて研修 福島県のプレゼンテーション
26 日 (金)	ホスト校にて研修 フェアウェルパーティ
27 日 (土)	ホストファミリーと過ごす
28 日 (日)	エネルギー事情学習見学 移動日
29 日 (月)	帰校

福島の実況発信や現地におけるエネルギー学習について

ホスト校の高校 1 学年に当たるクラスの地理の授業で、福島県のプレゼンテーションを行った。プロジェクターを使用し、生徒一人一人が福島県の概要・東日本大震災と津波のこと・原子力発電所事故のこと・福島県の未来について発信することができた。ホストファミリー宅でも、福島のことを話題にし、非常に心配された生徒も多かった。

また現地のエネルギー事情学習のテーマを、恒常的に水不足に悩むオーストラリアの国民生活への影響とし、各家庭でどのようなことをしているかをそれぞれ調べることができた。特に、自宅の庭や地下に雨水をためるタンクがあるのを見て、水資源が豊かな日本との違いに驚くことが多かった。しかし、Liquid Waste Plant (Sydney Olympic Park NSW 2127 Australia) の見学が、警備上・衛生上の問題で周囲からの見学になってしまったのが残念であった。

## 実施後の反省について



昨年度同様の地で実施した反省を生かし、生徒・保護者への参加募集プレゼンテーションや事前指導を計画的に行えた。

ホスト校は Xavier College (Ninth Ave Llandilo, NSW, 2747 Australia) で、受入校は本校のみということもあり学校全体で歓迎された。引率者も職員会議に参加しスピーチを行うなど、教師同士の交流も行えた。

本支援事業の実施により、国際経済科1クラス40名中4名の追加参加者があった。経済的に迷っていた家庭にとって、この事業はとても意味のあるものである。また昨年度と比べて、単に「日本から来た」という感覚よりも、「日本の福島から来た」という感覚が生徒の中にあるのを感じる事が出来た。本校の来年度の実施にも弾みがつきそうである。